

一般質問通告表

令和8年第1回沖縄県議会(定例会)

02月24日(火)

順位	時間	氏 名 (会 派)	答弁を求める者
1	20分	新里 匠 (沖縄自民党・無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1 下地島空港を起点とした超富裕層ニーズの取り込みと改正漁港漁場整備法に基づく「海業」の推進による漁港・漁協の活性化について (1) 「海業」推進に関する現状認識と課題について ア 改正漁港漁場整備法に基づく漁港施設等活用事業の県内における進捗状況と、民間参入が進まない現状のボトルネックをどう把握しているか。 イ 国が推進する「海業」のモデルケースとして、下地島空港に隣接する佐和田漁港を指定し、戦略的な拠点整備を行う考えはないか。 (2) 既存漁業者・漁協との共生及び収益還元スキームについて ア 漁港の多目的活用に当たり、既存漁業者の操業環境を維持・保護するための具体的な調整指針はあるか。 イ 漁協が運営主体となることが困難な場合でも、民間事業者が投資・運営を担い、漁協側にリスクなしで「協力金」や「管理委託料」が配分される等の共生モデルを県が主導して構築すべきではないか。 (3) 官民連携による基盤整備と民間投資の誘発について ア 民間の資金とノウハウによる「民設民営方式」での棧橋設置について、占用許可の弾力的な運用を含め、県として支援する考えはあるか。 イ 民間投資を呼び込むための呼び水として、航路のしゅんせつや防波堤整備などの公共基盤整備を県が先行して行うべきではないか。 (4) 離島経済への波及効果と新たな観光・投資戦略について ア ヨットハーバー等の海上拠点と下地島空港の連携により、超富裕層の滞在価値を高めることが地場農水産物の消費拡大や県内への新たな投資誘致につながると考えるが、県の展望を伺いたい。 2 本県分蜜糖製糖工場の老朽化に伴う建て替え支援制度の拡充と地域経済・安全保障を重視した再編・更新計画について (1) 製糖工場建て替え支援制度の恒久化と拡充について ア ゆがふ製糖の建て替えで活用された高率補助等の特例措置について、その継続性と更新期を迎える全県の製糖工場への適用拡大に向けた国との交渉状況を伺いたい。 イ 膨大な建て替え費用が農家負担や地域経済の重荷とならないよう、沖縄振興予算の枠組み等において、さらに踏み込んだ負担軽減措置を創出すべきではないか。 (2) 地域経済の維持と「再編・効率化」への懸念について ア 製糖工場の集約や再編が、運送業者(トラック組合)、ハーベスタ組合、港湾荷役業者、工場雇用など地域経済の毛細血管に与える影響を県はどう分析しているか。 イ 宮古地区で見られる応急的な搬入調整などは、現場の負担が限界に近い。地域事情を無			

視した拙速な再編ではなく、地域の物流網と雇用を死守するための建て替え計画を県が主導して策定すべきではないか。

(3) 安全保障と国境離島の産業維持について

- ア 改正食料・農業・農村基本法が掲げる食料安全保障の観点から、国境離島における製糖業の維持は国防に直結する。この認識を国と共有し、全額国庫負担に近い抜本的な更新支援を求める考えはないか、知事の所見を伺いたい。

3 離島航空路の維持と住民の利便性確保を両立させる「デジタル離島支援マイレージモデル」の構築について

(1) 多頻度搭乗（修行僧）による住民への座席圧迫の実態把握について

- ア 観光・ビジネス以外の「即時折り返し」利用者の推定数と、それによる繁忙期の住民予約への影響を把握しているか。

(2) 「時間効率」を「地域貢献」に置換する代替案の提案について

- ア 実際に搭乗せずとも、離島自治体への寄附や支援活動を航空会社がステータスポイント（FOP等）として認定する、本県独自の「デジタル離島支援モデル」をJALグループ等に提案できないか。

(3) 滞在を伴わない利用への抑制策（ペナルティー）の導入について

- ア 離島住民の座席を確保するため、島内での滞在・消費を伴わない「即時折り返し」利用に対し、運賃の上乗せやポイント付与率の低減といったペナルティー的措置を検討すべきではないか。

(4) 三方よしの離島振興戦略

- ア 航空会社、修行僧、離島住民、自治体の4者が利益を享受できる「空飛ぶふるさと納税」スキームを県が主導して構築する考えはないか。

4 国際線空港である下地島空港における運営会社との課題の共有方法やその課題についての取組の現状について

(1) 現状と課題を相互に共有し、平等な立場を担保するために公の会議体の創出が必要ではないか。

5 建設業界の経営基盤強化と「インフラの最前線」への支援について

(1) 激化する人手不足と資材高騰の中、県内建設企業のデジタル化やDX導入による経営効率化に対し、既存の枠組みを超えた強力な資金支援策を講じる考えはないか。

(2) 若手・中堅技術者の不足は、地域の守り手の不在を意味する。県が主導して、民間企業が活用しやすい「沖縄型・建設人材育成プログラム」を創設し、研修コストや資格取得を全面的にバックアップすべきではないか。また、地域にある実業系高校との連携など、戦略的な取組について行う考えはないか伺う。

6 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和8年第1回沖縄県議会(定例会)

02月24日(火)

順位	時間	氏 名 (会 派)	答弁を求める者
2	20分	大屋 政善 (沖縄自民党・無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1 知事の政治姿勢について			
(1) 知事は、これまで「採算が取れない」との理由で、モノレールの再延伸に消極的だったが、最近では、県の「新交通システム」に関連づけて、再延伸に積極的と見受けられるが、その理由について伺う。			
(2) 採算性に直結する利用客について、那覇一名護間の鉄道と中南部の軌道系システムとの競合についての見解を伺う。			
2 「知事提案説明要旨」について			
(1) 2 頁の中段に、物価高への支援策として、「生活困窮者や子育て世帯、農林水産業など様々な分野に対する支援に取り組んだ」とあるが、具体的にどの分野で、どのような取組をしたのか。また、その効果について伺う。			
(2) 3 頁に、「小規模離島については、離島町村と連携しながら、地域社会の維持に向けて、取り組んでいく」とあるが、具体的にはどのような形で取り組むのか伺う。			
(3) 4 頁に、「糖業及び農業の一体的な振興を図る」とあるが、そのための予算は確保されているのか伺う。また、「本県の特性を生かした農林水産業の実現を目指す」とあるが、本県の特性について伺う。			
(4) 8 頁に、「少子化対策等により人口減少のペースを緩和させつつ、持続可能な社会を維持していくための取組を推進する」とあるが、現在実施している、県の少子化対策について伺う。また、持続可能な社会とは、どのような状態の社会をイメージしているのか伺う。			
(5) 12 頁に、「域外所得獲得に取り組む」とあるが、その取組方法について伺う。また、畜産業に対する県の現状認識と「獣医師の確保」の現状について伺う。			
(6) 同じく12 頁、水産業における「資源管理型漁業」とは、どのような漁業か伺う。また、「沖縄型のつくり育てる漁業」とは、どのようなものが具体的な事例について伺う。			
(7) 25 頁、離島・過疎地域に関連して、「定住条件の整備に取り組む」とあるが、現状の取組状況はどうなっているのか伺う。			
3 ゆがふ製糖工場について			
(1) 工場の建て替え費用について、「沖縄県と本島内26市町村が費用の負担割合で合意した」との新聞報道があったが、合意に至った経緯及びその内容について伺う。			
(2) 製糖工場建て替え後の当該工場の安定操業に向けて、県はどのような支援・対応を考えているのか伺う。			
(3) 今年1月に「県さとうきび農業協同組合」が発足したが、当該組合に対する県の立ち位置及び当該組合に対する県の対応について伺う。			
4 道路行政について			
(1) 県道20号線は、胡屋十字路、高原交差点を結ぶバイパスとして、そのバイパスの2			

点が、路線認定道路と接続して、交通渋滞のボトルネック対策として整備が進められている。このような場合は、道路の起点・終点の変更、主な通過地点の変更がない場合は、区間の変更で済むケースもあると理解しているが、県の見解を伺う。

(2) 令和7年第5回県議会で、伊計平良川線は伊計と平良川を結ぶ道路として認定していると答弁しているが、同道路は平成15年頃から、投資効果がないとして工事計画も放置されている。これは、同道路が県道としての役割を果たせないと判断したものであり、県は、その時点で、当該区間について道路法に基づく「路線廃止」か、または「市道」に変更すべきであったと思うが、見解を伺う。

(3) 県の代替道路整備の住民説明から10年余り、西側ルートに替わる新しいルートも見えない。伊計大橋が完成して50年余り。県の宮城島工区ルートの事業の進め方について、いま一度、見解を伺う。

5 県立中部病院について
県立中部病院の建て替え事業について、病院完成までの各年度における事務手続等について伺う。

6 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和8年第1回沖縄県議会(定例会)

02月24日(火)

順位	時間	氏 名 (会 派)	答弁を求める者
3	20分	喜屋武 力 (沖縄自民党・無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1 津堅島環境、農業、生活の県支援推進事業について			
(1) トマイ浜の砂流出について			
(2) 津堅にんじんの島における小麦農家・生産者への支援について			
(3) 島内住民の燃料(ガソリン・灯油)の買い出しについて			
(4) 過疎化対策について			
2 中部地域道路行政について(交通アクセス)			
(1) 与勝一周道路の25年以上にわたるこれまでの県の取組について伺う。			
(2) 中部一帯の道路表示板、道路案内板の目的・内容について伺う。			
(3) 県道75号線石川赤崎交差点の交通渋滞緩和について伺う。			
(4) 県道33号線うるま市洲崎地域への朝夕の交通渋滞緩和について伺う。			
(5) 県道75号線上平良川から下平良川、現在安慶名開発地域までの道路拡張計画について伺う。			
(6) 県道11号線伊計平良川線照間地域の道路海岸線の雑木改修事業(海岸整備事業)について伺う。			
(7) 県道10号線具志川総合体育館出入口の道路拡幅工事について伺う。			
(8) 高速道路(沖縄自動車道)沖縄南・沖縄北交通渋滞解消のための中間インター整備事業について伺う。			
3 うるま市内で現在、県が取り組んでいる道路整備事業の早期整備完成について			
(1) 兼箇段喜仲線総延長720メートルの進捗状況・内容について伺う。			
(2) 与那城18号線の進捗状況・内容について伺う。			
(3) 安慶名西原線総延長204メートルの進捗状況・内容について伺う。			
(4) ハード事業の中で兼箇段高江洲線の進捗状況・内容について伺う。			
(5) ハード事業の中で安慶名田場線の進捗状況・内容について伺う。			
4 防災震災対策によるうるま市内の道路事業について			
(1) 県道80号線の字前原イオン具志川店近くの道路斜面補強工事について伺う。			
(2) 県道80号線うるま市沖縄市道路冠水整備事業(赤道第三雨水幹線・赤道第一雨水幹線)の今後の対策事業について伺う。			
(3) 洲崎地域内(工業団地内)樹木、道路街路樹(キョウチクトウ)の撤去と工業団地周			

辺道路の街路樹雑草の清掃作業について伺う。

(4) 洲崎地域への道路橋の耐震補強強化工事の事業について伺う。

5 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和8年第1回沖縄県議会(定例会)

02月24日(火)

順位	時間	氏 名 (会 派)	答弁を求める者
4	20分	比嘉 忍 (沖縄自民党・無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1 県内特殊詐欺被害について、下記のとおり答弁を求めます。 (1) 今年度の被害件数、被害金額について (2) 検挙数について (3) 特異性について (4) 県民への対策メッセージについて 2 知事提案説明要旨より、次の事項について、現況、具体的な取組、経緯及び目標(値)について、答弁を求めます。 (1) 「はじめに」より ア 「本県の離島地域は、」から「離島・へき地を含め医療提供体制の確保を図ってまいります。」まで イ 「特に、普天間飛行場については、」から「全身全霊で取り組んでまいります。」まで (2) 「令和8年度の主な施策について」より ア 「イノベーション・エコシステムの構築に向け、」から「技術移転の促進に取り組めます。」まで イ 「若年妊産婦等に切れ目なく支援を行うための」から「多角的な支援に取り組めます。」まで ウ 「伊平屋空港については、整備に向けた課題解決に取り組んでまいります。」について エ 「また、北部地域の水源かん養機能の維持や」から「いのちの水を守る取組を推進します。」まで 3 衆議院議員選挙における集計ミスについて、発生経緯、再発防止策について答弁を求めます。 4 地域の課題解決に向けて、次のとおり答弁を求めます。 (1) 名護市東江海岸で進められている高潮対策事業について (2) 世富慶川河口付近の堆積土砂の対策について (3) 県道71号線(名護市大北地内)の道路改良工事について (4) 県道13号線(名護市豊原地内)の歩道整備事業について (5) 令和6年1月25日に屋部支所管内地域振興会より提出された「要望書」について			

一般質問通告表

令和8年第1回沖縄県議会(定例会)

02月24日(火)

順位	時間	氏 名 (会 派)	答弁を求める者
5	20分	仲村 家治 (沖縄自民党・無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1 知事の政治姿勢について (1) 所信表明について 県政運営の基本姿勢、知事は物価高、子どもの貧困、離島振興、次世代交通政策など、県民生活に直結する政策を掲げられました。しかしながら、本県を取り巻く環境は、物価高騰、人手不足、安全保障環境の変化など極めて厳しさが増している。限られた財源の中で、事業の優先順位と成果検証をどのように行うのか、県政運営の基本方針を明確に示していただきたい。 (2) 基地・安全保障について ア 辺野古移設問題への対応方針と工事進行下での現実的対案は何か伺う。 イ 国との訴訟・対立継続による県民への負荷について考えたことがあるのか。 ウ 南西地域の防衛力強化に対する見解と住民避難計画の整備状況を伺う。 エ 特定利用空港・港湾やインフラ整備への協力姿勢の是非について伺う。 (3) 経済・物価高対策について ア 物価高騰対策の財源内訳と継続性について伺う。 イ 離島における物価高の抑制等は、物流コストの削減だと考えるが、県としての対策と予算措置を伺う。 (4) 交通・インフラ（鉄軌道を含む）について ア アドバルーンのごとく鉄軌道導入を表明したが、「①導入の採算性と需要予測」「②事業主体・費用負担（国・県・民間）の整理」「③モノレール延伸・バス再編との整合性」はそれぞれどうなっているか伺う。 2 沖縄県立芸術大学でのハラスメント問題はどう対処しているか伺う。 3 海の安全・安心について (1) 沖縄県の水難事故の状況について伺う（過去のデータとの比較も含め）。 (2) 今年度の水難事故の状況に対して、関係部局の次年度予算への対応と宿泊税の海の安全・安心対策予算への考えを伺う。 (3) 昨年の11月定例会で提案した「世界溺水防止会議」を沖縄に誘致してはどうか。 4 我が会派の代表質問との関連について			

一般質問通告表

令和8年第1回沖縄県議会(定例会)

02月24日(火)

順位	時間	氏 名 (会 派)	答弁を求める者
6	20分	新垣 新 (沖縄自民党・無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1 平和行政について (1) 摩文仁崖地の廃棄物・不発弾・遺骨収集の課題解決について、内閣府との調整を行っていると思いますが、進捗状況をお伺いします。 (2) 糸満市から要望がある参拝道の整備について、進捗状況をお伺いします。 (3) ドイツでは、管理困難な慰霊碑が集約された実績があるが、県として調査すべきでないか。また、戦後90年に向かい、慰霊碑の集約化に取り組んでいくべきでないか見解を求めます。 (4) 国際平和研究機構(仮称)の取組状況について、見解を求めます。 (5) 国際平和創造拠点の形成を図るため、負の戦争遺跡の世界遺産登録を目指すべきでないか見解を求めます。 (6) 去る11月定例会でも質問しましたが、戦後処理の抜本的解決に向け、玉城知事は高市総理へ要請すべきと提案しました。その後の進捗状況をお伺いします。 2 教育行政について (1) 深刻ないじめの被害状況等をお聞かせください。 (2) いじめを防止する観点から、SNSの規制について本格的に国と連携していくべきでないか、教育長の見解を求めます。 (3) 令和6年9月定例会でも質問しましたが、高校生GIGAスクールにおけるアプリの導入の支援について、見解を求めます。 (4) 県内、小中学生のGIGAスクールで重要なタブレット端末の状況等をお聞かせください。 3 道路行政について (1) 糸満市における県道82号線の早期整備について、見解を求めます。 (2) 県道256号線の早期拡張整備、糸満ロータリーの中央部分の整備、伝統行事である大綱引きに対応した綱の設置箇所に関する整備について、見解を求めます。 (3) 県道77号線(平和の道)の進捗状況について見解を求めます。 (4) 糸満市における県道7号線、真壁から米須間の通学路・歩道整備について、見解を求めます。 (5) 糸満市における県道52号線未整備区間の早期整備について、見解を求めます。 4 海洋深層水の導入について (1) 海洋深層水導入に向けて支障となっている海底ケーブル等の課題はどうなっていますか、見解を求めます。			

- (2) 久米島で海洋深層水が産業革命となり成功しています。沖縄本島や石垣島や宮古島でも導入すべき考えがありますか、見解を求めます。
- (3) 今後、将来的に沖縄県内の国営ダムや県営ダムが老朽化した場合における海洋深層水の水道水としての活用を検討すべきでないか、見解を求めます。

5 知事の政治姿勢について

- (1) 知事の尖閣問題における対応と発言は、多くの沖縄県民や日本国民から親中派なのかとささやかれています。事実でしょうか、見解を求めます。
- (2) 知事が選挙で掲げた1期目・2期目の公約と達成率等をお聞かせください。

6 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和8年第1回沖縄県議会(定例会)

02月24日(火)

順位	時間	氏 名 (会 派)	答弁を求める者
7	20分	呉屋 宏 (沖縄自民党・無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1 農林水産について			
(1) ゆがふ製糖について			
ア 建て替えの総額は幾らか。			
イ 建て替えに支出する機関と金額は幾らか。			
ウ ゆがふ製糖の支出は建物だけではなくそれ以外もあると思うが、詳細を伺う。			
エ この事業で県の収入はないのか。			
オ 改築のために新たな団体をつくるようだが、なぜか。			
カ 示されている総額以外に支出はないのか。			
キ これまで製糖工場(民間)に市町村から負担金の拠出ということがあったのか。			
ク 州崎の予定地はどこの土地か。どこが負担するのか。			
ケ 移転予定地はうるま市だが、うるま市の負担はないか。			
2 小規模離島・過疎地域医療の進捗状況について			
(1) 現状を説明してください。			
(2) 過疎地域の医療事業の主体は県か、市町村か。			
(3) 過疎地域の保健医療の抜本的な改革はあるか。			
(4) 過疎地域の保健医療は全庁的に行うべきではないか。			
(5) 総合的(保健医療・防災事業・過疎対策)な対策について伺う。			
ア 消防防災ヘリ事業について現状はどうか。			
イ 遠隔医療の進捗状況はどうか。			
ウ 過疎対策の一番の問題は医療問題だが、合同会議は行っているか。			
エ 過疎対策で、知事公室・企画部・保健医療介護部の合同計画はあるか。			
3 環境行政について			
(1) 令和7年度は頑張って電気自動車事業の補助金をつけているが、順調に進んでいるか。			
(2) この事業で環境部が過疎地域に限定した理由は何か。			
(3) 環境部はこの事業を市町村と連携すべきではないか。			
4 高等学校教育について			

(1) 高等学校教育改革の推進について

- ア 高等学校教育改革促進基金の創設、ネクストハイスクール構想というのが国の事業で準備されているようだが、把握しているか。
- イ この予算は全国で約３０００億、沖縄で６０億と聞いているが、県の考え方を伺う。
- ウ これこそ高校教育改革であり、地域とタイアップした事業であり、過疎対策にもなるが理解しているか。

5 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和8年第1回沖縄県議会(定例会)

02月24日(火)

順位	時間	氏 名 (会 派)	答弁を求める者
8	20分	又吉 清義 (沖縄自民党・無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1 米軍基地返還跡地利用計画の県の取組状況について			
(1) 普天間飛行場返還跡地利用計画の進捗状況について			
(2) 浦添キャンプ・キンザーの返還跡地利用計画の進捗状況について			
(3) 那覇軍港返還跡地利用計画の進捗状況について			
(4) 返還跡地のまちづくりについて			
ア まちづくりにおいて商店街の建物はどうあるべきか、基本的な考えはあるのか。			
イ 無電柱化について			
ウ 道路網整備において、商店街、ビジネス街の駐車場の考え方について			
2 道路行政について			
(1) 渋滞対策推進事業について			
ア 長田交差点の普天間から浦添向け車線について			
イ 県道34号線の我如古交差点から琉大南入り口までの改良について			
ウ 国道330号と県道81号線の交わる普天間高校前交差点について			
エ 中部地域へのモノレールの延伸について			
3 医療・福祉行政について			
(1) 県民の命と健康を守る予防並びに健康増進推進事業について			
(2) これまでの予算額とその費用対効果について伺う。			
4 就農支援事業について			
(1) 畑の土壌及び散水用水の検査はどのように取り組まれているか伺う。			
(2) 県が定義をしている農産物のブランド化とは何か伺う。			
(3) 土壌づくりがしっかり行われた有機栽培で生産をされた農産物は、食卓において何が異なるのか。			
5 絶滅危惧種に近い希少生物たちの保護に対する県の取組について			
(1) どのような対策が行われ、その効果について伺う。			
(2) 保護を行うと同時に、その後どのように生かしていくべきであるか、計画について伺う。			
6 与那原マリーナ並びに宜野湾マリーナの地域住民とともに、さらに発展するまちづくりのビ			

ジョンについて

- 7 県内で見受けられる公共物や人の財産に行われている落書きについて
- 8 糸満漁港の管理における放置船の取扱いについて
- 9 我が会派の代表質問との関連について